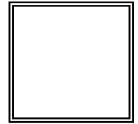


受験番号	
------	--

令和4年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち1)

得点		3
----	--	---



(1)	【語句の意味】絵文字（標識）のことをいい、伝えたい情報を図形だけで表現したもの。					/	
	【効果】図形を見ただけで直感的に内容を伝えることができる。					/	
	①A ア	/ 2	①B ウ	/ 2	①C エ	/	
(2)	② 【例】 「ヒロシマ・アピールズ」をキャッチフレーズに、核兵器廃絶を願い、原爆を投下された広島の心を、言葉の壁を超えて語り続けることを目的にポスターを制作することで、国内外問わず広く伝える。					/	
(3)	① アルフォンス・(マリア)・ミュシャ ② リトグラフ(石版画) ③ 【例】 作品Dは、紙巻きたばこ用の紙を製造販売する会社の☆宣伝ポスターとして描かれた作品。★花や草木、円や曲線、女性といったモティーフにより美しい画面構成が作者の特徴で、☆この作品においても巻き髪や文案の書体等曲線で表現されており、抑えた色調が魅力的。					/	

受験番号	
------	--

令和4年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち2)

4	得点	
---	----	--

--

(1)

題材名 「この一枚が人を動かす～SDGs 17 の目標の実現に向けて～」
題材の概要 <p>学校に訪れる様々な人に持続可能な開発目標（SDGs）についてわかりやすく伝えるためにミニポスターを制作し、学校のエントランスで展示を行う。持続可能な開発目標（SDGs）の17の項目のイメージから主題を生み出し、形などが感情にもたらす効果、分かりやすさと美しさなどどの調和を考え構想し、表現の意図に応じて創意工夫して創造的に表す。また、伝達のデザインの作品や生徒の作品などを鑑賞し、調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。学習活動においては、1人につき1台配付したタブレット端末を活用し、自己の主題を深め、発想や構想をしたことの整理する活動を取り入れる。また、伝達のデザインの作品や生徒の作品などを鑑賞し、調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な表現の工夫について感じ取ることができるようにならう。</p>

--

受験番号	
------	--

令和4年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち3)



(2)

時	学習活動および内容	
第1時 ～2時	課題の把握 と発想・構想	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な開発目標（SDGs）のロゴを鑑賞し理解するとともに、SDGsのポスターの例を鑑賞し、伝達のデザインに対する見方や感じ方を深めるとともに、形などの感情にもたらす効果や、統一感など全体のイメージで捉えることを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発目標（SDGs）のロゴを鑑賞し理解するとともに、SDGsのポスターの例を鑑賞を行い、伝達のデザインの意図や表現の工夫、共通性などについて形などの性質や統一感などの視点から感じたことや考えたことの意見を述べ合う。 ○主題を生み出す <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の学習で学んだことを生かしながら、持続可能な開発目標（SDGs）の17の項目のイメージから主題を生み出す。 ○構想を練る <ul style="list-style-type: none"> ・創出した主題を基に、形などが、形などの感情にもたらす効果や、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。



(3)

時	学習活動および内容	
第3時 ～ 第6時	制作及び鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ○制作中に鑑賞を行い、批評しあい表現の構想を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・制作の途中に鑑賞を行い、客観的な視点に立って他者の作品を見たり、自分の意図を説明したりすることにより、表したいものをより一層明確にしていくなどしながら作品を完成させる。



(4)

「努力を要する」と判断した生徒の具体的な状況
鑑賞の学習で学んだことを生かしながら、持続可能な開発目標（SDGs）の17の項目のイメージから主題を生み出すことが難しい

「努力を要する」と判断した生徒への指導方法の工夫
持続可能な開発目標（SDGs）の17の項目のイメージの中から心にとまった内容に気付かせる。その内容の持つイメージ、色や形に着目し、身の回りの様々な事象に置き換えさせる。生徒ときめ細やかに対話することで、自ら持続可能な開発目標（SDGs）の17の項目のイメージの中から主題を生み出せるように指導する。

